

平成 20 年度第 6 回清水町行政改革推進委員会記録（第 30 回）
（要点筆記）

日 時 平成 21 年 3 月 17 日（火）午前 10 時から
場 所 清水町役場 4 階 第 1 会議室
出席者 委員長外 7 人
役 場 町長・副町長（企画財政課）石田、駿藤、野田、前川、木村

<H20 提言書の受け渡し>

※ 中山委員長による趣旨説明 10 提言

※ 提言については第 1 次委員会の提言を含め、報告を求める。理由としては、認定こども園について、第 1 次委員会にて諮問され答申をしたが、十分な準備をするよう答申に入れていたにも関わらず、新聞報道ではギクシャクしているように聞いている。答申内容がどういう形で担当課等に指示がされているのか不明なため、今後、提言を含め、逐次報告を求めたい。第 1 次委員会の委員も気にしている。

町長

行政改革のために提言をいただきありがとうございます。

幅広い 10 項目に対し、切れ味のよい提言をいただいたと実感している。

皆様の意見を反映することが使命である。

提言を達成するため、課長会にて各セクションに対し、指示をするようにする。

※ 第 5 回の会議録の確認

※ 配布資料確認

※ 議題

1. 平成 21 年度の清水町の財政全般について

（財政係より説明）

- ・ 議会にて予算審議中である。
- ・ 昨今の情勢により、一般会計前年度対比 5.4%の減額をしている。
- ・ 土地取得特別会計については、長沢の用地取得がなくなったため減額。
- ・ 老人特別会計については後期高齢者医療制度に移行したため減額。

（歳入）

- ・ 法人町民税が下がっている。
- ・ 幼稚園児の数が減る見込みのため、使用料手数料も減っている。
- ・ 依存財源についても、各交付金が減っている。

（歳出）

- ・ 土木費、教育費が減っている。
- ・ 地域交流センターの建設や久米田交差点の工事が完了見込みのため、工事費が減った。
- ・ 扶助費、こども医療に 6,000 万見込んでいるため、増額。

（財政指標）

- ・ 財政調整基金は 18 年度から増えている。

- ・ 町債については、残高が減っていく見込みである。

(質疑)

- ・ 教育費が下がっているようだが？

→公民館の建替え分が減額の主な理由であり、教育に関するソフト事業はALTの小学校派遣等、増えています。

- ・ ALTについてどのように変わるのか？

→小学校に専属のALTを配置することであり、町全体でみると1人増員の3人体制です。

- ・ 予想以上に日本経済の落ち込みは深刻であるが、町としては予算見込みを下回る想定はしているのか？また、どのように対応するのか。

→再来年度には、個人住民税も下がると見込んでいます。厳しい財政事情ではありますが、必要なものはやるというスタンスであるので、基金を崩すことも考え、また行革を進めていくことで、捻出すると考えています。どうすることもできなければ、縮小まで考えています。

- ・ 人件費の推移など、どのように考えているか。

→近隣と比べ、し尿処理やごみ処理場がないことで少ない。行革的な観点では定員適正化計画により人員も減らしている。

- ・ 人件費の内訳は？

→職員・議員・委員会委員も含まれています。

- ・ 民間委託による人員削減を期待する。

2. 平成21年度スケジュールについて

(事務局より説明)

- ・ 年6回
- ・ 新集中改革プランを策定する必要がある。
- ・ H20 提言書を管理していく。

3. その他

(事務局より説明)

- ・ 「幼稚園・保育所のあり方について」答申に至るまでの、第1次行政改革推進委員会の議事録の提示。
- ・ どのような審議であったか、第2次委員にも知っていただきたい。
- ・ 委員長・副委員長は1次委員会にも所属していたが、審議の過程には大きな間違いはなかったと考えている。
- ・ 行革を進めるという視点では、必要なことであった。
- ・ 数ある案の中から、選択されたものであると考えている。
- ・ その答申を町がどのように取り扱うかが問題である。

(意見)

- ・ 答申を受けてからの町の対応は、強引なやり方ではなかったのか？

→委員会は大所高所の判断をしているので、選択肢に間違いはなかった。町の住民に対する説明不足感はあると考えます。

聖域を設けては、行革は進まない。要望を全てを受け入れてしまえば、夕張の二の舞になってしまいます。

- ・ 行政と民意とのコンセンサスをとっていかなくては、問題が生じるし、行革

委員はそのような感覚でなくてはいけない。

- 委員会の意見では、準備に十分な時間をとる等、様々な指示をして、認定こども園の検討に入るように指示しているにも関わらず、守られていなかった。
- 委員は自分たちの意見や委員会の答申については、しっかり町の動向を見ていく必要がある。

※ 次回開催スケジュール

4月中に調整し、5月初中旬に開催を予定します。